

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年 5 月10日
【会社名】	株式会社卑弥呼
【英訳名】	HIMIKO Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 柴田 一
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前六丁目17番10号
【電話番号】	(0 3) 5 4 8 5 - 3 7 1 1 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理部マネージャー 藤原 督大
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区神宮前六丁目17番10号
【電話番号】	(0 3) 5 4 8 5 - 3 7 1 1 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理部マネージャー 藤原 督大
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

平成28年3月22日に金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき提出いたしました臨時報告書の記載事項に一部訂正がありましたので、金融商品取引法第24条の5第5項の規定に基づき、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

2 報告内容

- (1) 当該事象の発生年月日
- (2) 当該事象の内容
- (3) 当該事象の損益に与える影響

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

(訂正前)

- (1) 当該事象の発生年月日

平成28年3月18日

- (2) 当該事象の内容

平成28年3月18日開催の取締役会において、投資有価証券の売却を決議したことにより、投資有価証券売却損及び平成28年3月期第3四半期までに計上していた投資有価証券評価損の戻入を計上するものであります。

- (3) 当該事象の損益に与える影響

当該投資有価証券の売却に伴い、平成28年3月期決算において、営業外費用として投資有価証券売却損904百万円及び投資有価証券評価損368百万円の戻入を計上する予定であります。

(訂正後)

- (1) 当該事象の発生年月日

平成28年5月10日

平成28年5月31日

- (2) 当該事象の内容

その他有価証券に区分される保有投資有価証券のうち、デリバティブ内包型の債券の時価が低下したことに伴い、投資有価証券評価損を計上する必要が生じたものであります。

平成28年3月18日開催の取締役会において、投資有価証券の売却を決議したことにより、投資有価証券売却損及び平成28年3月期までに計上していた投資有価証券評価損の戻入を計上するものであります。

- (3) 当該事象の損益に与える影響

平成28年3月期第4四半期会計期間において、営業外費用として投資有価証券評価損449百万円を計上する予定であります。

当該投資有価証券の売却に伴い、平成29年3月期第1四半期会計期間において、営業外費用として投資有価証券売却損904百万円及び投資有価証券評価損の戻入(投資有価証券評価益)804百万円を計上する予定であります。

以 上